

Requested Patent: JP9218640A

Title:

EDUCATION SYSTEM CORRESPONDING TO TEXT BOOKS FOR SCHOOL USE ;

Abstracted Patent: JP9218640 ;

Publication Date: 1997-08-19 ;

Inventor(s): AKIOKA ISAO; NISHIGORI NORIKO ;

Applicant(s): GENEKIKAI:KK ;

Application Number: JP19960297093 19961021 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: G09B19/08 ; B42D15/00 ;

Equivalents:

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To guide to the points in a short time by giving priority to important points based on textbooks other than at school and to prepare for an entrance examination of a university by reasonably and easily improving scholastic ability and results. **SOLUTION:** A student requests by fax for a unit of explanatory prints of a textbook on his desired subject by a sheet of questionnaire 22 according to a degree of own progress in each school subject. An educational institution requested by the student distributes the explanatory prints on the text book to the student by fax. Also, the student mentions the names of the teaching materials in use at school and his questions by using the above questionnaire and requests for a reply by fax. The educational institution requested for the reply from the student distributes a reply to the questions by fax or replies to him by phone.

AI

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-218640

(43) 公開日 平成9年(1997)8月19日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 B 19/08			G 0 9 B 19/08	
B 4 2 D 15/00	3 0 1		B 4 2 D 15/00	3 0 1 J 3 0 1 K

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平8-297093
実願平8-11404の変更
(22) 出願日 平成8年(1996)2月9日

(71) 出願人 596031125
株式会社現役会
東京都新宿区百人町2丁目4番1号
(72) 発明者 秋岡 勲
藤沢市鵜沼海岸2丁目11番12号
(72) 発明者 錦織 典子
東京都府中市若松町3丁目30番56号
(74) 代理人 弁理士 佐藤 孝雄

(54) 【発明の名称】 学校使用の教科書対応教育システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 学校外で教科書に基づき、短時間で要領よく大切な箇所を重点的に指導し、自然に無理なく学力、成績を向上させて大学受験等に備える。

【解決手段】 受講生は自分の各教科の授業の進行度に応じて、質問用紙22により所望教科の教科書解説プリント1ユニット分をファクシミリで請求する。請求された教育機関では該当教科書解説プリントを受講生宛ファクシミリにより配布する。また、受講生は、前記質問用紙を用いて学校使用の教材の教材名と質問事項を記載し、ファクシミリにより質問請求する。請求された教育機関では受講生の希望により、質問に対する回答書をファクシミリで配布するか又は電話で回答する。

22

●現役会 **LIMIT 21** FAX質問用紙

23

25

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

【特許請求の範囲】

【請求項1】 学習教材登録カードを備えて、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名を記載自在とし、教科書対照表を備えて、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する複数のユニット番号を表示し、質問用紙を備えて、受講生が所属する高等学校等の各教科の授業進行度等に合せて、受講生が必要とする部分の学校使用の教科書のユニット番号を記載自在とし、教科書解説プリントを備えて、受講生からの質問請求に応じたユニット番号の部分の解説指導書を配布することを特徴とする学校使用の教科書対応教育システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、生徒を学校外で個別的に教育指導することのできる新規な学校使用の教科書対応教育システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、各種の予備校、学習塾等において生徒を教育指導する場合、教育対象の生徒の学力差等に対応した幾つかの指導段階に分けて、独自に作成した複数の教材を用いて各種の教科指導を行い、各生徒の学力に応じた受験等のための教育指導を行っていた。

【0003】また、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にして、学校外で生徒を教育指導することのできる学校使用の教科書対応教育システムを採用している予備校、学習塾等の受験教育機関はなかった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、近年、例えば高等学校に入学した場合、大量のカリキュラムを制限時間内でこなさなくてはならないため、授業の進行が速く、入学後しばらくするとかなりの数の生徒は消化不良に陥ってしまい、授業についていけない僅かな生徒だけが授業内容を理解できるといった場合が多く、この点の改善が望まれていた。

【0005】また、各種の教科書は、先生が直接教室で生徒に教授することを前提に作成されているため、授業中に教科書の内容等を理解できない場合は、授業後家庭等で独力で復習しようとしても、教科書の内容を的確に理解し、学力を身につけることは困難であった。

【0006】このため、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外で教科書にもとづいて生徒を教育指導し、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を重ねることによって、毎日の授業内容がよく理解でき、自然に無理なく学力が向上して大学受験等に備えることのできる

学校使用の教科書対応教育システムの開発が強く望まれていた。

【0007】本発明の目的は、従来の受験教育指導に対する考え方を根底から変え、大学受験等はあくまでも高等学校等の授業の延長線上にあるものとして捉え、高等学校等における生徒の学力、成績を高めて大学等の受験に際して容易に合格するために、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外でこの教科書にもとづいて、短時間で要領よく大切な箇所を重点的に生徒を教育指導し、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を毎日重ねることによって、毎日の授業がよく理解でき、自然に無理なく学力、成績が向上して大学受験等に有利に備えることのできる学校使用の教科書対応教育システムを提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、以下に述べる手段を採用する。本発明は、学習教材登録カードを備えて、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名を記載自在とし、教科書対照表を備えて、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する複数のユニット番号を表示し、質問用紙を備えて、受講生が所属する高等学校等の各教科の授業進行度等に合せて、受講生が必要とする部分の学校使用の教科書のユニット番号を記載自在とし、教科書解説プリントを備えて、受講生からの質問請求に応じたユニット番号の部分の解説指導書を配布することを特徴とする。

【0009】また、本発明は、学習教材登録カードを備えて、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名を記載自在とし、前記学習教材登録カードに受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の問題集、プリント等の教材名及び出版社名を記載自在とし、教科書対照表を備えて、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する複数のユニット番号を表示し、質問用紙を備えて、受講生が所属する高等学校等の各教科の授業進行度等に合せて、受講生が必要とする部分の学校使用の教科書のユニット番号を記載自在とし、前記質問用紙に学校使用の教材の教材名と質問事項を記載自在とし、教科書解説プリントを備えて、受講生からの質問請求に応じたユニット番号の部分の解説指導書を配布し、受講生の質問に対する回答書を配布し又は回答することの特徴とする。

【0010】本発明は、学習教材登録カードに、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用され

ている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語、理科、地歴・公民等の各教科毎の問題集、プリント等の教材名及び出版社名、受講生の所属する高等学校等の学校名及び学年、受講生の会員番号、住所、氏名、電話番号及びファクシミリ番号をそれぞれ記載自在としたことを特徴とする。

【0011】本発明は、学習教材登録カードに、受講生の所属する高等学校等で行われる各学期毎の中間試験、期末試験、その他の試験の実施時期、クラブ活動の大会・合宿等、体育祭、文化祭、修学旅行等の学校行事をそれぞれ記載自在としたことを特徴とする。

【0012】本発明は、教科書対照表に、英語においては原則として1レッスン分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、数学においては原則として1節分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、国語においては原則として1章分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示したことを特徴とする。

【0013】本発明は、教科書対照表に、英語においては原則として1レッスン分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、例外としてレッスンとレッスンの間にある、例えば、文法の解説や歌、詩、パズル等は直前のレッスン分に含めて1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、及び3頁以上にわたる読み物はそれ自体で1レッスン分の1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、数学においては原則として1節分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、例外として節の表示のない章においては、学習内容によってユニット分けして1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、国語においては原則として1章分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、例外として章の明示のない教科書においては、随筆・評論は、それ自体で1ユニットの範囲として、詩・小説は、それ自体で1ユニットの範囲として、古文は、それ自体で1ユニットの範囲として及び漢文は、それ自体で1ユニットの範囲としてユニット番号を表示したことを特徴とする。

【0014】本発明は、質問用紙に、受講生の会員番号、氏名、電話番号、ファクシミリ番号を記載自在とし、前記質問用紙に教科書解説プリント請求欄を設けて、希望教科、教科書名、教科書番号、出版社名、ユニット番号を記載自在とし、前記質問用紙に質問欄を設けて、教科名、登録教材名、出版社名、何頁、問題番号、何行目、希望回答方法を記載自在とし、前記質問用紙に質問事項記載欄を設けたことを特徴とする。

【0015】本発明は、教科書解説プリントに、教科書対照表に表示されたユニット番号に対応する部分の解説を記載したことを特徴とする。

【0016】このように本発明は、従来の受験教育指導に対する考え方を根底から変え、大学受験等はあくまで

も高等学校等の授業の延長線上にあるものとして捉え、高等学校等における生徒の学力、成績を高めて大学等の受験に際して容易に合格するために、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外でこの教科書にもとづいて、短時間で要領よく大切な箇所を重点的に生徒を教育指導し、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を毎日重ねることによって、毎日の授業がよく理解でき、自然に無理なく学力、成績が向上して大学受験等に有利に備えることのできる学校使用の教科書対応教育システムである。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の学校使用の教科書対応教育システムを図に示される実施形態について更に詳細に説明する。図1及び図2には、本発明の一実施形態に係る学習教材登録カード1a、1bが示されている。この登録カード1a、1bは1枚の用紙の表と裏に表示されて、学習教材登録カード1を構成している。

【0018】図1に示される実施形態の学習教材登録カード1aには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語の各教科毎の文部省検定済教科書名と教科書番号2a、2b、2cと出版社名3a、3b、3cとを記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教科書を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0019】また、前記学習教材登録カードには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語の各教科毎の問題集、プリント等の教材名4a、4b、4cと出版社名5a、5b、5cとを記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教材を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0020】更に、前記学習教材登録カード1aには、受講生の会員番号6、都道府県7、所属学校名8及び学年9、受講生の氏名10、住所11、電話番号12及びファクシミリ番号13をそれぞれ記入する記載欄が表示されている。これらの情報の記載欄を設けたことにより、受講生との個別連絡等が容易となる。

【0021】図2に示される実施形態の学習教材登録カード1bには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている理科、地歴・公民の各教科毎の文部省検定済教科書名と教科書番号14a、14bと出版社名15a、15bをそれぞれ記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教科書を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0022】また、前記学習教材登録カード1bには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使

用されている理科、地歴・公民の各教科毎の問題集、プリント等の教材名16a、16bと出版社名17a、17bをそれぞれ記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教材を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0023】更に前記学習教材登録カード1bには、受講生の会員番号6、都道府県7、所属学校名8、受講生の氏名10それぞれ記入する記載欄が表示されていると共に、受講生の所属する高等学校等で行われる各学期毎の中間試験、期末試験、その他の試験の実施時期18a、18b、18c、クラブ活動の大会・合宿等19、体育祭、文化祭、修学旅行等20の学校行事をそれぞれ記入する記載欄が表示されている。このような学校行事の記載欄を設けたことにより、受講生個々の年間行事、特に重要な試験の期日等を予め把握することができ、個別的な学習プログラムを立てることが可能となり、きめの細かい教育指導を行うことができる。

【0024】この学習教材登録カード1a、1bによって、受講生の所属する学校で使用されている各教科の教科書及び各種の教材が登録され、これにもとづいて個々の受講生の個別的かつきめ細かな教育指導を行うことができる。また、受講生の所属する学校での年間行事等も同時に登録されるため、年間行事を参考にした個別的かつ能率的な教育指導も併せて可能となる。

【0025】図3、図4及び図5に示される実施形態の教科書対照表21a、21b、21cには、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する複数のユニット番号が表示されており、この教科書対照表21a、21b、21cは、受講生が所属する高等学校等で使用されている教科書の内容に対応するものである。

【0026】また、図3、図4及び図5に示される実施形態の教科書対照表21aは、英語の教科書の場合を示し、21bは数学の教科書の場合を示し、21cは国語の教科書の場合を示すが、図示しないがこれらの教科に限定されることなく、理科（物理、化学、生物）の教科書の場合及び地歴・公民科（日本史、世界史、地理）の教科書の場合においても、同様のユニット分けにより対照表を作成することができる。

【0027】この教科書対照表21は、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を1ユニット分に限定すると同時にこの教科書対照表21を利用することにより、受講生の所属する学校での各教科の授業の進行度に応じて、受講生が適宜教科書解説プリントを請求することができ、学校での授業内容に対応した教科書の予習、復習に効果的であるばかりでなく、授業内容の理解が容易となる。この教科書対照表21に表示されている1ユニット分は、学校での授業のほぼ1週間分に相当し、例えば、週末に次週の授業内容の1ユニット分の教

科書解説プリントを請求することにより、土曜日、日曜日を利用して、1週間分の予習が可能となるばかりでなく、次週の授業後の復習も能率的に行うことできる。

【0028】図3の教科書対照表21aは、英語におけるユニット番号の表示を示すものであり、英語においては原則として1レッスン分を1ユニットの範囲としてユニット番号、すなわちユニット1、2、3……として表示され、例外としてレッスンとレッスンの間にある、例えば、文法の解説や歌、詩、パズル等は直前のレッスン分に含めて1ユニットの範囲としてユニット番号が表示され、及び3頁以上にわたる読み物はそれ自体で1レッスン分の1ユニットの範囲としてユニット番号が表示されている。

【0029】図4の教科書対照表21bは、数学におけるユニット番号の表示を示すものであり、数学においては原則として1節分を1ユニットの範囲としてユニット番号、すなわちユニット1、2、3……として表示され、例外として節の表示のない章においては、学習内容（例えば、指数関数と対数関数）によってユニット分けして1ユニットの範囲としてユニット番号が表示されている。

【0030】図5の教科書対照表21cは、国語におけるユニット番号の表示を示すものであり、国語においては原則として1章分を1ユニットの範囲としてユニット番号、すなわちユニット1、2、3……として表示され、例外として章の明示のない教科書においては、例えば、随筆・評論は、それ自体で1ユニットの範囲として、詩・小説は、それ自体で1ユニットの範囲として、古文は、それ自体で1ユニットの範囲として及び漢文は、それ自体で1ユニットの範囲としてユニット番号が表示されている。

【0031】図6に示す質問用紙22には、受講生の会員番号23、氏名24、電話番号25、ファクシミリ番号26の記載欄がそれぞれ表示されており、前記質問用紙22には教科書解説プリント請求欄27を設けて、希望教科28、教科書名29、教科書番号30、出版社名31、ユニット番号32の記載欄がそれぞれ表示されている。

【0032】前記質問用紙22には更に質問欄33が設けられ、教科名34、登録教材名35、出版社名36、何頁37、問題番号38、何行目39、希望回答方法40の記載欄がそれぞれ表示されている。前記質問用紙22には空白の質問事項記載欄41が設けられており、受講生が所望の質問事項を具体的に記載することができる。

【0033】図7に示すものは英語の教科書解説プリント42であり、図8に示すものは数学の教科書解説プリント43であり、図9に示すものは国語の教科書解説プリント44である。これらの教科書解説プリント42、43、44は、教科書対照表に示す1ユニットを単位と

して作成されている。

【0034】前記教科書解説プリント42、43、44の各頁には、教科書名、教科書番号、出版社名、ユニット番号、対応する教科書の該当頁及び表題等のインデックス45が表示されており、このインデックス45が表示されていることにより、受講生の請求に対して間違いなく正確に対応することができる。と同時に、受講生においてもこのインデックス45に従って教科書解説プリント42、43、44は容易に整理することができる。

【0035】この教科書解説プリント42、43、44は、教科書を完全に理解することができる内容とされており、具体的な解説内容としては、以下の通りである。先ず、英語にあつては、授業完全対策（全訳解説）、試験対策（重要語句の解説）、問題の解答と解説、重要文例事項の解説、教科書完全理解の解説、中間・期末試験対策の解説等であり、数学にあつては、授業完全対策の解説、重要公式完全整理の解説、予習、復習の重要ポイントの解説、例題の解答と考え方の解説、模範解答、教科書完全理解の解説、中間・期末試験対策の解説等であり、国語にあつては、授業完全対策の解説、試験対策（重要語句の解説）、問題の解答と解説、重要句法・語句の解説、教科書完全理解の解説、中間・期末試験対策の解説等である。

【0036】本発明は上記のように構成されていることにより、先ず、受講生は自分の各教科の授業の進行度に応じて、質問用紙22を用いて所望する教科の教科書解説プリント1ユニット分をファクシミリにより請求する。請求された教育機関では該当の教科書解説プリントを受講生宛ファクシミリにより配布する。また、受講生は、前記質問用紙22を用いて学校使用の教材の教材名と質問事項を記載してファクシミリにより質問請求する。請求された教育機関では受講生の希望により、質問に対する回答書をファクシミリで配布し又は電話で回答する。

【0037】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の学校使用の教科書対応教育システムによれば、高等学校等における生徒の学力、成績を高めて大学等の受験に際して容易に合格するために、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外でこの教科書にもとづいて、短時間で要領よく大切な箇所を重点的に生徒を教育指導することができるものである。また、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を毎日重ねることでき、毎日の授業がよく理解でき、自然に無理なく学力、成績が向上して大学受験等に有利に備えることのできるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る学習教材登録カードを示す説明図である。

【図2】本発明の一実施形態に係る学習教材登録カード

を示す説明図である。

【図3】本発明の一実施形態に係る教科書対照表を示す説明図である。

【図4】本発明の一実施形態に係る教科書対照表を示す説明図である。

【図5】本発明の一実施形態に係る教科書対照表を示す説明図である。

【図6】本発明の一実施形態に係る質問用紙を示す説明図である。

【図7】本発明の一実施形態に係る教科書解説プリントを示す説明図である。

【図8】本発明の一実施形態に係る教科書解説プリントを示す説明図である。

【図9】本発明の一実施形態に係る教科書解説プリントを示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 a、1 b 教材登録カード
- 2 a、2 b、2 c 教科書名と教科書番号
- 3 a、3 b、3 c 出版社名
- 4 a、4 b、4 c 教材名
- 5 a、5 b、5 c 出版社名
- 6 会員番号
- 7 都道府県
- 8 所属学校名
- 9 学年
- 10 氏名
- 11 住所
- 12 電話番号
- 13 ファクシミリ番号
- 14 a、14 b 教科書名と教科書番号
- 15 a、15 b 出版社名
- 16 a、16 b 教材名
- 17 a、17 b 出版社名
- 18 a、18 b、18 c 試験の実施時期
- 19 クラブ活動の大会・合宿等
- 20 体育祭、文化祭、修学旅行等
- 21 a、21 b、21 c 教科書対照表
- 22 質問用紙
- 23 会員番号
- 24 氏名
- 25 電話番号
- 26 ファクシミリ番号
- 27 請求欄
- 28 希望教科
- 29 教科書名
- 30 教科書番号
- 31 出版社名
- 32 ユニット番号
- 33 質問欄
- 34 教科名

- 35 登録教材名
36 出版社名
37 何頁
38 問題番号
39 何行目

- 40 希望回答方法
41 質問事項記載欄
42、43、44教科書解説プリント
45 インデックス

【図1】

12

記入用紙と一緒にお送りください。 年 月 日 提出

株式会社 大塚出版産業株式会社 **LIMIT 21**

学習教材登録カード

学習教材登録上の注意

①本登録カードは、会員登録の際のものと必ずお揃いで提出してください。2回目以降は、会員登録を記入して下さい。
②会員登録は、会員登録用紙の裏面に記入してください。
③会員登録用紙の裏面には、会員登録の注意事項が記載されています。必ずお読みください。
④会員登録用紙の裏面には、会員登録の注意事項が記載されています。必ずお読みください。
⑤会員登録用紙の裏面には、会員登録の注意事項が記載されています。必ずお読みください。
⑥会員登録用紙の裏面には、会員登録の注意事項が記載されています。必ずお読みください。

6 7 8 9 10 11 12 13

私は、次の教材で学習し、現在合格に向けて頑張ります。

学年	科目	教材名	冊数	単元	ページ	備考
高1	英語	英語の基礎	1冊	1単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	2単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	3単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	4単元	100頁	
高2	英語	英語の基礎	1冊	1単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	2単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	3単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	4単元	100頁	
高3	英語	英語の基礎	1冊	1単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	2単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	3単元	100頁	
		英語の基礎	1冊	4単元	100頁	

(0000-0000)

【図3】

212

【文芸会 UNICORNIIの場合の1ユニット】

ユニット1	LESSON 1 THE LAND OF TWO SEASONS
ユニット2	LESSON 2 A SRI LANKAN STUDENT IN JAPAN
	DIARY PRACTICE 1
ユニット7	LESSON 7 THE MARCH TO FREEDOM
	LET FREEDOM RING!
ユニット11	LESSON 11 I AM A DANCER
ユニット12	MADDERIES[Supplementary Reading]

1ユニット:1回のFAXで送付できる範囲

【図4】

218

【数研出版 新編数学IIの場合の1ユニット】

ユニット1	第1章 図形と方程式
ユニット2	第1節 点の軌跡
	第2節 直線
	第3章 図形と方程式
ユニット6	1 図形の性質
	2 図形の性質
	3 図形とグラフ
	4 図形とその性質
	5 図形とそのグラフ
ユニット7	6 図形とグラフ
	7 図形
	8 図形

1ユニット:1回のFAXで送付できる範囲

※ 図の表示がない場合は、学習内容(この場合は、図形と方程式)によってその1ユニットとする

BEST AVAILABLE COPY

【図2】

【図5】

理 料		地座 - 公尺	
第 一 次	<u>15.2</u>	第 二 次	<u>14.8</u>
第 三 次	<u>15.2</u>	第 四 次	<u>14.8</u>
第 五 次	<u>15.2</u>	第 六 次	<u>14.8</u>
第 七 次	<u>15.2</u>	第 八 次	<u>14.8</u>
第 九 次	<u>15.2</u>	第 十 次	<u>14.8</u>
第 十 一 次	<u>15.2</u>	第 十 二 次	<u>14.8</u>
第 十 三 次	<u>15.2</u>	第 十 四 次	<u>14.8</u>
第 十 五 次	<u>15.2</u>	第 十 六 次	<u>14.8</u>
第 十 七 次	<u>15.2</u>	第 十 八 次	<u>14.8</u>
第 十 九 次	<u>15.2</u>	第 二十 次	<u>14.8</u>
第 二十 一 次	<u>15.2</u>	第 二十 二 次	<u>14.8</u>
第 二十 三 次	<u>15.2</u>	第 二十 四 次	<u>14.8</u>
第 二十 五 次	<u>15.2</u>	第 二十 六 次	<u>14.8</u>
第 二十 七 次	<u>15.2</u>	第 二十 八 次	<u>14.8</u>
第 二十 九 次	<u>15.2</u>	第 三十 次	<u>14.8</u>
第 三十 一 次	<u>15.2</u>	第 三十 二 次	<u>14.8</u>
第 三十 三 次	<u>15.2</u>	第 三十 四 次	<u>14.8</u>
第 三十 五 次	<u>15.2</u>	第 三十 六 次	<u>14.8</u>
第 三十 七 次	<u>15.2</u>	第 三十 八 次	<u>14.8</u>
第 三十 九 次	<u>15.2</u>	第 四十 次	<u>14.8</u>
第 四十 一 次	<u>15.2</u>	第 四十 二 次	<u>14.8</u>
第 四十 三 次	<u>15.2</u>	第 四十 四 次	<u>14.8</u>
第 四十 五 次	<u>15.2</u>	第 四十 六 次	<u>14.8</u>
第 四十 七 次	<u>15.2</u>	第 四十 八 次	<u>14.8</u>
第 四十 九 次	<u>15.2</u>	第 五十 次	<u>14.8</u>
第 五十 一 次	<u>15.2</u>	第 五十 二 次	<u>14.8</u>
第 五十 三 次	<u>15.2</u>	第 五十 四 次	<u>14.8</u>
第 五十 五 次	<u>15.2</u>	第 五十 六 次	<u>14.8</u>
第 五十 七 次	<u>15.2</u>	第 五十 八 次	<u>14.8</u>
第 五十 九 次	<u>15.2</u>	第 六十 次	<u>14.8</u>
第 六十 一 次	<u>15.2</u>	第 六十 二 次	<u>14.8</u>
第 六十 三 次	<u>15.2</u>	第 六十 四 次	<u>14.8</u>
第 六十 五 次	<u>15.2</u>	第 六十 六 次	<u>14.8</u>
第 六十 七 次	<u>15.2</u>	第 六十 八 次	<u>14.8</u>
第 六十 九 次	<u>15.2</u>	第 七十 次	<u>14.8</u>
第 七十 一 次	<u>15.2</u>	第 七十 二 次	<u>14.8</u>
第 七十 三 次	<u>15.2</u>	第 七十 四 次	<u>14.8</u>
第 七十 五 次	<u>15.2</u>	第 七十 六 次	<u>14.8</u>
第 七十 七 次	<u>15.2</u>	第 七十 八 次	<u>14.8</u>
第 七十 九 次	<u>15.2</u>	第 八十 次	<u>14.8</u>
第 八十 一 次	<u>15.2</u>	第 八十 二 次	<u>14.8</u>
第 八十 三 次	<u>15.2</u>	第 八十 四 次	<u>14.8</u>
第 八十 五 次	<u>15.2</u>	第 八十 六 次	<u>14.8</u>
第 八十 七 次	<u>15.2</u>	第 八十 八 次	<u>14.8</u>
第 八十 九 次	<u>15.2</u>	第 九十 次	<u>14.8</u>
第 九十 一 次	<u>15.2</u>	第 九十 二 次	<u>14.8</u>
第 九十 三 次	<u>15.2</u>	第 九十 四 次	<u>14.8</u>
第 九十 五 次	<u>15.2</u>	第 九十 六 次	<u>14.8</u>
第 九十 七 次	<u>15.2</u>	第 九十 八 次	<u>14.8</u>
第 九十 九 次	<u>15.2</u>	第 一百 次	<u>14.8</u>

7 以下は、提出上の資料として添付です。できる限り詳細に記入してください。

学校行事調査

学年 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月

18a 中 国 月 日 曜日 19 20

18b 中 国 月 日 曜日 19 20

18c 中 国 月 日 曜日 19 20

以下の資料を提出表の下段に記入してください。

明治文壇 新選新選 日本文壇の 場合の1ユニット

ユニット1	一 自然と人生 一随筆一
ユニット2	二 小説 (一)
ユニット3	三 文化と創造 一評論一

明治文壇 新選新選 日本文壇の 場合の1ユニット

ユニット1	一 随筆 (一) と軍記物語
ユニット2	二 随筆 (二) と歴史物語

改訂実用 国語IIの場合の1ユニット

現代文 (一)	
言葉のテクニク	
ことわりかた	
巨大な目	
詩 読解	
むづりとりうる作家	
センテメンタル・ジャーニー	
小説 自転車	

1ユニット: 1回のFAXで請求できる範囲

【図6】

● 親社会 **LIMIT 21** FAX質問用紙

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

BEST AVAILABLE COPY

【図9】

